

# WindO/I-NV2

---



## Welcome to WindO/I-NV2!

このたびは、「WindO/I-NV2」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

WindO/I-NV2 は、プログラマブル表示器 MICRO/I の専用作画ソフトウェアで、画面や動作の様々な設定を行なうソフトウェアです。MICRO/I の画面や動作の設定に際しては、まず、プロジェクトの作成により、使用機器や使用環境の各種設定を行ないます。続いて、目的とする各種スイッチや表示器などの部品を画面に配置し、運用時に使用する画面を作成します。作成したプロジェクトと画面を MICRO/I にダウンロードすることにより、所望の操作表示環境が構築できます。

WindO/I-NV2 の主な機能は以下の通りです。

### 見易いワークスペース

プロジェクト内の構成が一目瞭然。編集作業への切替えもワンクリック。画面表示の自由度が高く効率的な作画を実現

### テキストマネージャ機能でテキストデータを一括管理

スイッチ、ランプの記名文字やアラーム機能で使用するテキストを一括管理することができます。テキストの設定内容（フォント、テキスト、文字色、サイズ等）を CSV 形式のファイルにエクスポート可能で、Excel 等の汎用ソフトで編集した後、インポートすることで、効率のよい作画が行えます。

### 部品の動作条件設定が簡単

スイッチ、ランプの動作条件や、ビット／ワード書込、画面切替命令の動作条件をそれぞれ部品のプロパティ設定で簡単に行えます。ランプの〈消灯一点灯一点滅〉設定も容易です。

### データの流用が可能

異なるプロジェクトの画面データのインポートやライブラリ登録した図形やスクリプトの流用が可能で、ソフトウェア資産を有効活用できます。BMP、JPG、DXF、WMF、ICO ファイル形式の画像データや CAD データの利用も可能です。

### タグエディタのクロスリファレンス機能で使用デバイスが一目瞭然

WindCFG や WindLDR と同じ GUI であるタグエディタを共有して使うことができ、プロジェクトに使用しているデバイスの確認やデバイスの置換などが容易に行えます。

# 注意事項 - WindO/I-NV2

---

WindO/I-NV2 をご使用いただく上で、以下の注意事項がありますので、ご了承ください。

## MICRO/I サポート

WindO/I-NV2 は HG2G/3G/4G, HG1F/2F/2S/3F/4F 形をサポートします。

## 文字およびフォント

- 1) 文字入力において、記名文字やメッセージ表示器など文字数制限がある場合に、入力 1 改行は半角 2 文字に相当します。
- 2) WindO/I-NV2 の推奨フォントは Windows システムの「小さいフォント」です。OS によっては、ダイアログボックス上の文字が多少欠ける場合があります。
- 3) WindO/I-NV2 上で表示されるフォント、直線及びビットマップの拡大/縮小後のイメージは、MICRO/I 本体での表示とは異なる場合がありますので、MICRO/I 本体にてご確認ください。

## 表示・印刷

- 1) 使用されているパソコンのハードウェア構成によっては使用中に画像が乱れることがあります。そのときはハードウェアアクセラレータをオフにして使用ください。  
WindO/I-NV2 上で、一度に開くことができる編集画面数の制限はありませんが、これは、使用されているパソコンのメモリなど環境に依存し、画面を開くことができない場合は警告メッセージが表示されます。
- 2) 印刷時に文字化けが起こる場合は、印刷ダイアログの印刷フォントを再度指定してください。
- 3) 容量の大きなプロジェクトに対して、RTF ファイル出力を実行した場合、クリップボードに関するエラーメッセージが表示される場合があります。  
この場合は、印刷範囲を分割するなどして印刷してください。
- 4) ピクチャマネージャに登録した画像のファイルサイズが OKB で表示される場合があります。
- 5) 画面リストに表示される各画面のイメージが上側半分しか表示されない場合があります。

## 編集

- 1) WindO/I-NV2 上で、一度に開くことができる編集画面数の制限はありませんが、これは、使用されているパソコンのメモリなど環境に依存します。  
画面を開くことができない場合は警告メッセージが表示されます。
- 2) プロジェクトを開く/閉じるを何度も繰り返すと、メモリ不足のメッセージが表示されたり、WindO/I-NV2 上の画面が乱れたりすることがあります。  
この場合は、一度 WindO/I-NV2 を終了させ、再起動してください。  
なお、この発生頻度は、同時に実行しているアプリケーションソフトの数など、使用されているパソコンの環境に依存します。

- 3) WindO/I-NV2 を二重起動させ、2つのプロジェクトを参照しながら編集することはできませんが、両者間でのインポートやコピー&貼り付けなどの書込み動作は保証しておりません。
- 4) 日本語 OS 上で、中国語や韓国語などを入力する場合の方法や注意事項に関しては、マニュアル及びヘルプをご参照ください。
- 5) NV2 メタファイルを使用するにあたって、以下の注意事項があります。
  - 2 ドット以上の線幅の描画図形が外枠になる NV2 メタファイルをスイッチ、ランプ、マルチステートランプ、図形表示器の表示図形として設定する時、オフ/オンなど切り替わるイメージのサイズが異なる場合や「背景を元に戻す」機能などで表示イメージを消す場合に、この表示図形の外枠が更新されません。  
対策として、あらかじめ外枠に 1 ドット線幅の描画図形を配置してください。
  - NV2 メタファイルを構成する描画図形の中に塗りを使用している場合、この NV2 メタファイルを表示図形とした図や部品を拡大/縮小した時に、塗りが漏れ、表示イメージが変わってしまう場合があります。
- 6) 以下の機種ではライブラリ画面のエクスポートを行うことができません。
  - HG3G/HG4G, HG3G/4G(Multimedia), HG2G-5FT
- 7) タグエディタにおいて、空白のセルをコピー&ペーストすることができません。
- 8) データ履歴設定ダイアログにおいて、複数のチャンネルの設定を同時に行うとデバイスアドレスが削除される場合があります。このような場合は個々のチャンネルで設定を行ってください。
- 9) ホスト I/F ドライバに Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag) を選択している際、不正なタグ名が手動で設定されてもエラーが表示せず設定が反映されて通信エラーが発生します。タグ名を手動で設定される際は、不正なタグ名で無いかご確認ください。
- 10) ホスト I/F ドライバに Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag) を選択している際、登録されたタグのデータタイプを変更した場合、データが不正になる場合があります。タグのデータタイプを変更したい場合は、一度そのタグを削除し設定しなおしてください。
- 11) スクリプトにエラーが存在する場合にホスト I/F ドライバを変更すると、スクリプトデータが不正になる場合があります。スクリプトにエラーが存在しないことを確認後、ホスト I/F ドライバを変更してください。

## 通信

- 1) WindO/I-NV2 と MICRO/I が通信中に、ケーブルが切断されたり、電源がオフになったりした場合、そのタイミングによって WindO/I-NV2 が無応答になることがあります。
- 2) デバッグ機能において、読み出しを行わないで書き込みのみを行なうホストデバイスの値を、PLC で更新しながらモニタする場合は、画面モニタでは更新されないことがあります。  
その際は、登録モニタもしくは一括モニタを使用してモニタして下さい。
- 3) Emerson ROC Protocol ドライバで 32 ビットデバイスに対して 16 ビットでの書き込み、もしくはビット書き込みを行わないようにしてください。
- 4) Ethernet を使用したユーザー通信でコマンドを送信する際は同時に複数のコマンドを送信しないようにしてください。
- 5) ホスト I/F ドライバに Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag) を選択し、更新データのみをダウンロードした際、正常にプロジェクトデータをダウンロードしない場合があります。プロジェクトデータをダウンロードする際、すべてのプロジェクトデータをダウン

ロードしてください。

- 6) O/I リンクスレーブに挿入されたメモリカードに対してファイルを転送する場合、WindO/I-NV2 と O/I リンクマスタが USB ケーブルで接続されていると転送が失敗する場合があります。この場合、WindO/I-NV2 と O/I リンクマスタを Ethernet ケーブルで接続するようにして下さい。

## タッチパネル

HG2G/3G/4G, HG1F/EX4R 形のアナログ方式タッチパネルは検出の特性上、複数箇所を同時に押すと、その押されている箇所の重心位置（1ヶ所）が押されたものと判断します。従いまして、複数同時押しは動作保証外となります。

## マルチメディア機能

- 1) 早送りおよび早戻しができる動画ファイルは次のとおりです。
  - 再生時間が 10 分以下の場合、I フレームの数が 2 秒に 1 度以上のファイル
  - 再生時間が 10 分以上の場合、I フレームの数が 5 秒に 1 度以上のファイル
- 2) サブ画面に配置したビデオ表示器で、ビデオの表示や動画ファイルを再生中にサブ画面を移動すると、移動前の位置に表示がしばらく残ることがあります。
- 3) 認識に時間がかかる SD メモリカードの場合、運転開始直後は動画ファイルを再生できない場合があります。この場合、LSM21（メモリカードにアクセスしている間は ON）が ON になってから再生してください。

## 部品

- 1) メーターで標準図形の F0001、F0101、F0201（フランジなし）を使用する場合は、目盛の設定は使用できません。

## プロジェクトデータのバックアップ機能

プロジェクトの編集集中に WindO/I-NV2 が強制終了した場合、バックアップされたデータが壊れる場合があります。Ver.4.95 でプロジェクトを編集集中に WindO/I-NV2 が強制終了した場合、編集前のデータをバックアップする機能を追加しました。「プロジェクトデータの復元」ダイアログからプロジェクトを選択する場合は、編集していたプロジェクトを選択せず、プロジェクト名に「\_backup」が付いたプロジェクト使用してください。

# WindO/I-NV2 Ver.5.13

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ WindO/I-NV2 インストール時に Windows OS のスタート メニューに作成されるショートカットの機能を、WindO/I-NV2 のヘルプ メニューに移動しました。

## <Downloader>

以下の機能に対応しました。

- ▶ Downloader インストール時に Windows OS のスタート メニューに作成されるショートカットの機能を、Downloader のヘルプ メニューに移動しました。

## <Pass-Through Tool>

以下の機能に対応しました。

- ▶ Pass-Through Tool インストール時に Windows OS のスタート メニューに作成されるショートカットの機能を、Pass-Through Tool のメニューに移動しました。

# WindO/I-NV2 Ver.5.12

---

## <システム ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ ユーザー通信設定の [コマンド設定] ダイアログにおいて、[送信ウェイト] 設定の値が“定周期”の [周期] 設定の値よりも小さいにもかかわらず、エラーメッセージが表示される。

# WindO/I-NV2 Ver.5.09

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ [セキュリティ]ダイアログボックスで、2バイト文字をパスワードとして設定して[OK]ボタンを押下した場合、エラーメッセージが表示されることなく設定が完了してしまう。このため、パスワードの入力を求められたときに、パスワードを入力するためのテキストボックスでは2バイト文字を入力することができないため、パスワードの解除を行うことができない。
- ▶ [表示] タブが開いているときに、[画面リンクビュー] で操作を行うと、WindO/I-NV2が強制終了する場合がある。

# WindO/I-NV2 Ver.5.08

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ ダイアログボックスのラジオボタンに対して、**Tab** キーによるフォーカス移動を行うと、選択項目が変更される場合がある。



# WindO/I-NV2 Ver.5.07

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ Automation Organizer のアップデートチェック機能が Microsoft .NET Framework 4 に対応しました。この対応により、Microsoft .NET Framework 2.0 から 3.5 のインストールが不要になりました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 新規プロジェクト作成時に“ホストなし”を選択した場合、[プロジェクト設定] ダイアログボックスから開いた [デバイスアドレス設定] ダイアログボックスにおいて、[機器] に“接続機器”を選択すると、WindO/I-NV2 が強制終了する。

## <Downloader>

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ コマンドラインで外部メモリへのダウンロードを実行する場合、コマンドラインにパスワードが含まれていると、Downloader がフリーズしてしまう。

# WindO/I-NV2 Ver.5.06

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ スクリプトエディタの **STRCUT** 関数の説明文に誤記がある。
- ▶ スクリプトエディタのエラーチェック時において、アウトプットに表示される行番号が正しくない場合がある。
- ▶ スクリプトにおいて、2つ以上の **return** 文がある場合、2 個目以降の **return** 文が動作しない。
- ▶ スクリプトにおいて、**switch** 文の **default** に **if** 文がある場合、スクリプトが **MICRO/I** で正常に動作しない。

# WindO/I-NV2 Ver.5.05

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ “アドレスとビットの区切り記号”として“ドット区切り”を選択している場合、以下の Allen-Bradley のホスト I/F ドライバにおいてビットアドレスを設定することができない。
  - PLC-5 (Half Duplex)
  - SLC 500 (Half Duplex)
  - MicroLogix/SLC500 (Full Duplex)
  - Ethernet/IP
  - Logix DF1 (Full Duplex)

# WindO/I-NV2 Ver.5.04

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ デバイス範囲エラーの判定処理を改善しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

# WindO/I-NV2 Ver.5.02

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ Windows 10 に対応しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ [デバイス一括変換] で [表示位置] に 20 の倍数以外の値が設定されている場合、デバイスアドレスをインポートすることができない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形、HG1F 形のみ)
- ▶ [デバイス一括変換] でデバイスアドレスのエクスポートとインポートを行えない設定が存在する。
- ▶ 三菱電機のホスト I/F ドライバがプロジェクトに設定されている場合、以下の不具合が発生する場合があります。
  - 表示器のシステム情報を読み出したときに、接続機器の情報が違う。
  - プロジェクトをアップロードした後開くことができない。

## <Downloader>

以下の機能に対応しました。

- ▶ Windows 10 に対応しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ Downloader をアンインストールして、別の言語の Downloader をインストールした場合、Downloader が起動しない。
- ▶ 三菱電機のホスト I/F ドライバがプロジェクトに設定されている場合、以下の不具合が発生する場合があります。
  - 表示器のシステム情報を読み出したときに、接続機器の情報が違う。

## <Pass-Through Tool>

以下の機能に対応しました。

- ▶ Windows 10 に対応しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ **Pass-Through Tool** をアンインストールして、別の言語の **Pass-Through Tool** をインストールした場合、**Pass-Through Tool** が起動しない。

# WindO/I-NV2 Ver.5.01

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ [アラームリスト表示器] または [アラーム履歴表示器] を含むプロジェクトを開くと強制終了する。(HG2G-5S/-S 形のみ)

# WindO/I-NV2 Ver.4.99

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ デバイス範囲エラー発生時のメッセージにエラー情報を追加しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

XXXXX\_Yyyyyyyyyy\_ZZZZZZZZZ

X:MICRO/I システムソフトウェアバージョン、Y:種別、y:詳細番号、Z:予約

種別の記号は以下のとおりです。

|      |                                       |
|------|---------------------------------------|
| B, S | ベース画面、サブ画面 (y はエラー原因の画面番号と内部オブジェクト番号) |
| G    | グローバルスクリプト(y はスクリプト ID)               |
| X    | ユーザ通信                                 |
| P    | 予防保全                                  |
| L    | データ履歴、折れ線グラフ                          |
| R    | アラーム履歴、レシピ                            |
| O    | 操作履歴                                  |
| Y    | システムエリア                               |

例 : 43500\_B0001\_005\_01076840E(MICRO/I バージョン 4.35.00、ベース画面 1 の内部オブジェクト番号 5)

- ▶ プロジェクト設定の [スクリプトエラーを表示する] が有効な場合、デバイス範囲エラーを表示するようにしました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ [ホーム] タブが選択されているときの操作性を改善しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。



- ▶ [ピクチャマネージャ] に作成した“種類”を削除することができない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ [表示器機種を選択] ダイアログに表示される詳細の内容が、選択されている形番とは違う。
- ▶ 画面の拡大率を変更するとグリッドの表示が正常に行えない場合がある。
- ▶ [データ履歴設定] ダイアログにおいて、[履歴機能] を使用しない場合も [オプション] タブの設定が有効になる場合がある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ [プロジェクトデータの復元] ダイアログに表示される HG2G-5F 形のプロジェクトのアイコンが HG4G/HG3G 形のものになる。(HG2G-5F 形のみ)

# WindO/I-NV2 Ver.4.98

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 「ライブラリ画面」の「エクスポート」機能に対応しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 英語版において、「メッセージ表示器」と「棒グラフ」に小文字のタグ名が登録されたデバイスアドレスを設定すると、タグ名が大文字に変更されてしまう。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 「データ履歴設定」において、複数のチャンネルを選択した状態で一括設定を行うと、設定が保持されない場合がある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 「ピクチャマネージャ」に登録された 256 色ビットマップと NMF ファイルのサイズが 0KB と表示されてしまう。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ プロジェクトを新規作成する途中で、表示器機種を選択し直した場合に WindO/I-NV2 が強制終了する場合がある。
- ▶ 「表示条件」が設定されている部品において、「詳細」モードから「基本」モードに変更した場合、ダウンロードを行うとエラーが発生しプロジェクトをダウンロードすることができません。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 「画面一覧」に表示される画像が切れて表示されてしまう。
- ▶ 画面を再利用した場合、その画面に設定されている重ね合わせの画面が表示されない。
- ▶ ホスト通信ドライバに Emerson ROC Protocol が選択されている場合、プロジェクトの保存を繰り返すと WindO/I-NV2 が強制終了してしまう場合がある。
- ▶ スクリプトで MEMCPY と MEMCMP に設定される第 3 引数に不正な値を設定することができる。
- ▶ スクリプトでデータタイプの範囲外の値を設定することができる。

## <Downloader>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 「ピクチャマネージャ」でチェックボックスがオンになっている図形のみ、メモリカードにダウンロードされるように改善した。

# WindO/I-NV2 Ver.4.95

---

## <システム ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ [ベース画面の重ね合わせ] で [表示位置] を原点(0,0)以外に設定すると描画図形が正しく表示されない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 多角形を含む NMF 形式の図形をスイッチの表示図形として使用すると、表示が乱れることがある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ SIEMENS S7-1200(Ethernet) ドライバを選択時、複数のホストデバイスに同時に値を書き込むと、不正な値が書き込まれることがある。
- ▶ SIEMENS S7-1200(Ethernet) ドライバを選択時、スクリプトを使用してアドレス番号が連続していない複数のホストデバイスに同時に値を書き込むと、不正なアドレス番号に値を書き込むことがある。

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ プロジェクトを編集中に WindO/I-NV2 が強制終了した場合、編集前のプロジェクトを復旧する機能を追加しました。

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 部品に「動作条件」が設定されている場合、「デバイス一括変更」でデバイスをインポートすることができない。
- ▶ WindO/I-NV2 のバージョンの小数点以下第二位が 6 から 9 の場合、保存されているライブ러리画面を開くことができない。
- ▶ ホスト I/F ドライバとして、Emerson ROC Protocol を選択している場合、未対応のデータ型である TIME 型のデータタイプを持つ Parameter がデバイスアドレス設定画面に表示される。

# WindO/I-NV2 Ver.4.93

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ Windows 8.1 に対応しました。
- ▶ ホスト I/F ドライバに Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag) が選択されている場合、プロジェクト保存のパフォーマンスを改善しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ レシピが設定されている HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のプロジェクトを HG2G-5S/-S 形に表示器機種の変更を行うと、下記の問題が発生する。
  - WindO/I-NV2 が強制終了する。
  - レシピデータが壊れる。
- ▶ デバイスにタグ名が割り付けられている場合、設定したデバイスが「デバイスアドレス設定」ダイアログボックスに表示されない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ タグエディタでタグ名やコメントを貼り付けできない場合がある。

## <Downloader>

以下の機能に対応しました。

- ▶ ユーザー権限に対応しました。
- ▶ Windows 8.1 に対応しました。

## <USB オートラン定義ファイル生成ツール>

以下の機能に対応しました。

- ▶ Windows 8.1 に対応しました。

## <Pass-Through Tool>

- ▶ Windows 8.1 に対応しました。

# WindO/I-NV2 Ver.4.91

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ **Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag)** ドライバでデータタイプ **DINT, REAL** にアクセスする場合の通信速度を改善しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 数値表示器、数値入力器および時計において、表示図形を「なし」に設定した場合、数値を変更すると描画の一部が残ることがある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ スクリプトにおいて、**SET** 関数を使用してホストデバイスへの書き込みを行なった場合、デバイスへの書き込みが正常に反映されないことがある。

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ **Modbus RTU Master、Modbus RTU Slave、Modbus ASCII Master** ドライバのインターフェイス設定の初期値を変更しました。(Modbus RTU Slave は HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ ホスト通信ドライバに **Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag)** が選択されている場合、以下の操作においてパフォーマンスを改善しました。
  - プロジェクトを開く
  - ベース画面またはサブ画面を開く
- ▶ ホスト通信ドライバに **Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag)** が選択されている場合、タグエディタの機能が以下のように変更されます。
  - タグエディタに「削除」ボタンを追加しました。
  - プロジェクトで使用されているタグにおいて、タグ名以外のパラメータの編集を禁止しました。
- ▶ タグエディタ、Microsoft Excel 間の切り取り、コピー、貼り付け機能に対応しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 画面の再利用を行っても、ピクチャがインポートされない場合がある。
- ▶ スクリプトに **2** バイト文字が設定されている場合、スクリプトエディタを閉じる際に、**WindO/I-NV2** が強制終了する場合がある。
- ▶ ホスト **I/F** ドライバとして **Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag)** を選択している場合に下記の問題が発生する。
  - 「データ履歴設定」の「通知デバイス」に設定したビット指定のタグが削除される。

- 以下の設定項目に設定したタグが削除される。
  - ・ 「時計」の「通知デバイス」
  - ・ 「ワードスイッチ」の「間接書き込みをする」
  - ・ 「ワードコマンド」の「間接書き込みをする」
- 古いバージョンのプロジェクトを開くと、設定していたタグが別のタグに変更される場合がある。
- 古いバージョンのプロジェクトを開き、プロジェクトに対して、ビット指定のタグを設定するとホスト通信エラーが発生する。
- ▶ タグエディタ上で、行間隔の空いたタグ名、コメントを範囲選択した後、コピー、貼り付けを実行すると、行間隔が削除される。

# WindO/I-NV2 Ver.4.88

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ ユーザー通信において受信データの格納方法として「デバイス」を選択し、「変換タイプ」として「ASCII (16 進) →バイナリ」が設定されている場合に変換文字列として小文字のアルファベットに対応しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ スクリプトにおいて、動作条件として「常に実行」もしくは「条件成立中」が選択されている場合、MEMCPY 関数の書き込み先デバイスにホストデバイスを使用すると画面スキャンが遅くなる。
- ▶ データ履歴機能において個別設定の「履歴データをクリアする」を実行しても通知デバイスの値が初期化されない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ データ履歴機能と操作履歴機能において履歴データのクリアを実行しても使用率がクリアされない場合がある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ サブ画面で、部品が点滅や非表示になった時に、隣接する部品の表示が欠けたままになることがある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 折れ線グラフで、「表示間隔」や「スクロール数」をデバイスに設定した場合、デバイスの値が 32768 以上の値になると負の数として扱う。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ 折れ線グラフで、「カーソルの表示位置」を設定した場合、デバイスの値が 32768 以上の値になると負の数として扱う。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ LSD/LSM にタグコメントを追加しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ タグエディタに表示されないデバイスタイプが存在する。
- ▶ データ履歴設定において、「使用率がしきい値に達したときに通知する」に付随する「しきい値」に設定した値が動作に反映されない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ 英数字以外の文字がスクリプトに含まれていると、スクリプトエディタで検索に失敗する場合がある。
- ▶ ホスト I/F ドライバに Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag)を選択して、デバイス

設定ダイアログを繰り返し開くと、WindO/I-NV2 が強制終了する場合があります。

- ▶ **Windows** フォントが設定された部品を複数選択し、部品のプロパティを変更すると部品を配置した画面を使用できなくなる場合があります。



# WindO/I-NV2 Ver.4.84

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ テキストグループの最大数を 32 に増やしました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ レシピ機能に float32 のデータタイプを追加しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ DM リンク Ethernet(UDP)に宛先設定機能を追加しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ オートラン機能のプロジェクトダウンロードコマンドにキープデバイス(LK/LKR)をクリアしない設定を追加しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 表示器内部デバイスを使用して、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、接続機器の IP アドレスを変更する機能を追加しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ 外部メモリに CSV ファイルを出力している間の操作性を改善しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 三菱電機 FX1, FX2, FX2C との結線図を更新しました。システム構成から FX-2PIF を削除しました。
- ▶ 「デバイスの値で指定する」を設定したサブ画面が開閉できないことがある。
- ▶ Emerson の ROC Protocol で 128 以上の TLP 番号を使用すると、ホスト通信エラーが発生する。
- ▶ プロジェクト設定で「エラーメッセージを表示する」を無効にした場合、ホスト機器を接続しない時に、システム画面が閉じる。
- ▶ 図形や文字に含まれる異なる色の境界部において、意図しない色が表示されることがある。(HG2G-5F 形のみ)

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 上記システムソフトウェアの機能アップに伴う機能及び設定項目を追加しました。
- ▶ サブホスト通信のプロトコル名称を「Modbus RTU」から「Modbus RTU Master」に変更しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 「部品の種類を変更」を使用し、「ビットスイッチ」、「ワードスイッチ」、「画面切替スイッチ」のいずれかを「マルチスイッチ」に変更した場合、WindO/I-NV2が強制終了する。
- ▶ スクリプトに設定したホストデバイスの局番が10以上の場合、プロジェクトをアップロードすると局番が設定時とは別の値に変更される。

### <USB オートラン定義ファイル生成ツール>

以下の機能に対応しました。

- ▶ プロジェクトダウンロードコマンドにキーデバイスクリアしない設定を追加しました。

# WindO/I-NV2 Ver.4.83

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ DM リンク Ethernet(UDP)に対応しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ MicroLogix/SLC500 (Full Duplex) の TP、TA、CP、CA、RLEN、RPOS を連続で読み出すように改善しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 時計部品において、動作モードを「通知」に設定した場合でも時計の日時が表示されてしまう場合がある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ INT, DINT, SINT のデータタイプをもつタグにおいて、ワードデータに含まれるビットの指定に対応しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 既存のプロジェクトを開いた場合、「画面一覧」ウィンドウにベース画面・サブ画面が表示されない。
- ▶ スクリプトに設定されているタグ名にピリオド(.)とコンマ(,)の両方が含まれている場合、プロジェクトを開くと不正なタグ名に変更されてしまう。
- ▶ ホスト I/F ドライバに Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag)を選択して以下の操作を行うと、MICRO/I でホスト通信エラーが発生する場合がある。
  - 部品や各機能のプロパティでタグを設定後、そのプロパティダイアログボックスをキャンセルする。
  - 部品や各機能のプロパティでタグを設定後、そのプロパティダイアログボックスで OK ボタンを押下したときに設定に誤りがあり、ダイアログボックスを閉じることができない場合。
- ▶ タグエディタ上でデバイスタイプを変更した場合、タグエディタが強制終了する場合がある。

# WindO/I-NV2 Ver.4.82

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 日立産機システム EH(Ethernet)ドライバに対応しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ COM1 にホスト I/F ドライバ「S7-200(PPI)」を設定し、COM2 に「O/I リンクマスタ」を設定した場合に、SIEMENS PLC との通信が遅くなる。(O/I リンクの通信速度を 57600bps 以上に設定した場合のみ発生) (HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

# WindO/I-NV2 Ver.4.81

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 数値入力器または文字入力器において、「動作条件」タブにある「入力条件」の「条件種別」を「ON 中」あるいは「OFF 中」に設定した場合、「デバイス」が設定できない。
- ▶ ホスト I/F ドライバとして **Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag)**が選択されている場合、プロジェクトに設定されている配列を持つタグを他のタグに変更すると PLC と通信を行うことができない場合がある。

# WindO/I-NV2 Ver.4.80

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ LSM10 でフラッシュメモリに転送するキープリレー、キープレジスタの数を 1024 点からデータ保持領域で設定した設定数分に拡張しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ メーターの最大値・最小値・レンジ設定にデバイスを指定できるようになりました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ ファイルコピー機能を使用してフォルダをコピーする場合、サブフォルダもコピーされるように変更しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 遠隔操作機能を使用して操作されたことを判定するために特殊内部リレー(LSM52) を追加しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ システムメニューで Administrator 以外のパスワードも変更できるようになりました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ WindSRV からのパススルーに対応しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ Modbus RTU Slave ドライバに対応しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ Ethernet を使用した 1:N 通信において接続可能な PLC の上限を 16 台から 32 台に拡張しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ MicroLogix/SLC500 (Full Duplex) と Ethernet/IP ドライバで STRING デバイスに対応しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ Ethernet/IP(Native Tag) ドライバで STRING データ型のタグに対応しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ MELSEC-FX(CPU)、MELSEC-FX2N(CPU)、MELSEC-FX3UC(CPU) ドライバの通信効率を向上しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ SIEMENS S7(Ethernet) ドライバの名称を S7-1200(Ethernet)に変更しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ MODBUS RTU ドライバの名称を Modbus RTU Master に、MODBUS ASCII ドライバの名称を Modbus ASCII Master に変更しました。
- ▶ 内部動作を改善し、動作速度を改善しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ ランプを点滅させた場合の動作を高速化しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ タッチパネルの応答速度を改善しました。以下のロット番号以降の HG3G/HG4G 形、HG2G-5F 形を使用し、WindO/I-NV2 Ver.4.74 以降を使用される場合にタッチパネルの応答速度が向上します。
  - HG2G-5FT : 73X23-00004
  - HG\*G-\*JT22TF : 73Y14-00001
  - HG\*G-\*JT22MF : 73919-00055

ロット番号は以下のルールで記載されています。

- 2016 年 9 月まで

ABCDD-EEEE

B: 製造年 (0-6 が 2010 年～2016 年に対応)

C: 製造月 (1-9,X-Z が 1 月～12 月に対応)

DD: 製造日 (1-31 が 1 日～31 日に対応)

EEEE: シリアル番号

- 2016 年 10 月以降

ABBCDD-EEEE

BB: 製造年 (16-99 が 2016 年～2099 年に対応)

C: 製造月 (1-9,X-Z が 1 月～12 月に対応)

DD: 製造日 (1-31 が 1 日～31 日に対応)

EEEE: シリアル番号

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 文字入力器で「ENT スイッチで表示を更新する」を有効にしている場合に、表示桁数を 48 以上に設定すると「ENT」キー押下時に「演算エラー」が表示される。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ ユーザー通信の設定が以下の条件に当てはまる場合に、受信データをデバイスに格納できないことがある。
  - スタートデリミタとエンドデリミタが同じ受信コマンドに 2 個以上存在し、これらのコマンドに「デバイス」「登録定数 (文字)」「登録定数 (16 進数)」のいずれかが設定されている。
  - 上記のコマンドが同時に受信可能状態となっている。
- ▶ メッセージ表示器のスクロール機能で Windows フォントを使用すると正常に表示されない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 数値表示器のデータオーバーによる点滅で、数値が消えている時に点滅を停止すると数値が消えたままになる。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 図形表示器の動作条件を OFF し、移動/拡大・縮小してから動作条件を ON すると移動/拡大・縮小前の表示が消えない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ タッチパネルを押下した状態で電源を投入した場合、もしくはモード切替後にタッチパネルを押下し続けた場合、タッチパネルを離すまで画面が表示されない。

対象機種は以下の通りです。

HG2G-SB22TF, HG2G-SB22VF

HG2G-SS22TF, HG2G-SS22VF

HG2G-SB21TF, HG2G-SB21VF

HG2G-SS21TF, HG2G-SS21VF

HG2G-5ST22TF

- ▶ バッテリー容量が低下している状態で電源を投入すると初期画面が表示されない。

対象機種は以下の通りです。

HG2G-SB22TF, HG2G-SB22VF

HG2G-SS22TF, HG2G-SS22VF  
HG2G-SB21TF, HG2G-SB21VF  
HG2G-SS21TF, HG2G-SS21VF  
HG2G-5ST22TF

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 上記システムソフトウェアの機能アップに伴う機能及び設定項目を追加しました。
- ▶ Windows 8 に対応しました。
- ▶ Administrator パスワードとは別に、プロジェクトを開くためのパスワードを設定できるようになりました。
- ▶ ホスト I/F ドライバが Emerson の ROC Protocol のとき、TLP を「デバイスアドレス設定」ダイアログで入力して設定できるようになりました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 通信ドライバが Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag) のとき、古いバージョンの WindO/I-NV2 で保存されたプロジェクトを開こうとすると、エラーメッセージが表示されて開けないときがある。
- ▶ 通信ドライバが Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag) のとき、プロジェクトを編集してダウンロードすると MICRO/I でホスト通信エラーが発生する場合がある。
- ▶ ライブラリ画面に描画図形や登録図形を設定した部品を配置することができない。
- ▶ 編集画面の部品上に表示する動作条件が正しい位置に表示されないことがある。
- ▶ プロジェクト設定の通信インタフェースタブのプロトコル 1~3 でユーザ通信を選択しているとき、「通信先」の「ポート番号」に正常な値を入力できない場合がある。
- ▶ 「変換後の画面サイズに合わせて部品の座標とサイズを変更する」を選択して、「表示器機種の変更」を実行すると、プロジェクトを MICRO/I にダウンロードした後、MICRO/I で表示される部品の記名文字が WindO/I-NV2 上で表示される位置と異なる場合がある。

## <Downloader>

以下の機能に対応しました。

- ▶ Windows 8 に対応しました。

## <USB オートラン定義ファイル生成ツール>

以下の機能に対応しました。

- ▶ Windows 8 に対応しました。



# WindO/I-NV2 Ver.4.75

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 通信ドライバが Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag) のとき、下記の問題が発生する場合があります。
  - プロジェクトを編集中に WindO/I-NV2 が強制終了する。
  - プロジェクトを編集してダウンロードすると MICRO/I でホスト通信エラーが発生する。

## <Downloader>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ HG と接続しているにもかかわらず、FT1A Touch と接続しているかのようなメッセージが表示される。

# WindO/I-NV2 Ver.4.74

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 東芝機械製 PLC、日立製作所製 PLC、三菱電機 FREQROL シリーズに対応しました。  
(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 数値表示器のデータタイプが BCD8, BIN32(+), BIN32(+/-), float32 の場合にデータオーバー機能が正常に動作しない。(HG2G-5S/-S 形のみ)

## <アプリケーション ソフトウェア>

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 以下の設定でホストデバイスを割り付けた場合、デバイスの値通りに部品が動作しない。
  - 折れ線グラフ : 最小値、最大値、表示間隔、スクロール数
  - 棒グラフ : 原点、最小値、最大値

# WindO/I-NV2 Ver.4.72, 4.73

---

## WindO/I-NV2 Ver.4.73 の変更内容

### <アプリケーション ソフトウェア>

#### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ ホスト I/F ドライバとして **Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag)** を選択している場合、動作条件に設定されているホストデバイスのタグ名を変更すると、プロジェクトを開き直した時に、設定した動作条件が消える場合がある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形)
- ▶ 「置換モード」で「アドレスを相対値で置換する」を選択すると、検索対象の対象が「すべて」ではない場合にデバイスの置換を行うことができない。
- ▶ プロジェクト設定の通信インタフェースタブのプロトコル **1~3** でユーザ通信を選択しているとき、通信先と **MICRO/I** のポート番号を同じ値に設定することができない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形)
- ▶ 条件種別が「条件成立時」もしくは「条件成立中」のとき、**"SM", "SD", "WSM"** が含まれたタグ名を設定しているデバイスを部品の動作条件として設定できない。

## WindO/I-NV2 Ver.4.72 の変更内容

### <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 表示器の設置方向「横置き(反転)」に対応しました。(HG2G-5S/-S 形のみ)

#### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ スキャン速度が低下した場合にサウンドの連続再生が行えない。(HG4G/3G 形のみ)
- ▶ サブ画面を閉じる際に再生中のサウンド再生が停止する。(HG4G/3G 形のみ)

### <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 上記システムソフトウェアの機能アップに伴う機能及び設定項目を追加しました。

# WindO/I-NV2 Ver.4.71

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ SIEMENS S7-1200 で Ethernet 通信に対応しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ Web サーバー機能において Operator/Reader に属するユーザーでログインすることができない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 数値表示器・数値入力器で「フォント」として「欧文ストローク」または「7セグ」を選択し、「表示図形」として「背景なし」を選択した場合に、正しく表示されない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ ランプに表示される文字が画面範囲外に配置される場合にランプの表示が更新されない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ USB オートラン機能を使用してファイルコピーを行った場合、コピー中に停止する。(HG4G/3G 形、HG2G-5F のみ)

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 上記システムソフトウェアの機能アップに伴う機能及び設定項目を追加しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 部品の動作条件やスクリプトエディタで、タグ名がエラーとして判定されることがある。
- ▶ スクリプトエディタでスクリプト編集時に強制終了することがある。
- ▶ 画面イメージを印刷時に印刷結果が不正になることがある。
- ▶ データ履歴機能において「データ履歴のデータをコピーする」を有効にして、コピーの対象となるデータの終了番号をデバイスの値で指定する。このプロジェクトをダウンロードすると、MICRO/I がデバイス範囲エラーを表示する。
- ▶ スクリプトの記述にタグ名が含まれているプロジェクトをダウンロードすると MICRO/I がリセットすることがある。
- ▶ 拡張子が"jpeg"の画像ファイルがインポートされているプロジェクトをバージョンアップ変換すると、ベース画面やサブ画面を開いた際にエラーメッセージが表示されるようになる。

# WindO/I-NV2 Ver.4.70

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 次の部品はフランジおよびプレートなしで表示できるようになりました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

- 数値入力器
- 文字入力器
- メッセージ表示器
- メッセージ切替表示器
- 時計

詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(12)の各部品の [形状] タブを参照してください。

- ▶ 次の部品でデータタイプに“float32”を追加しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

- 棒グラフ
- 面グラフ
- メーター

詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(12)の各部品の [基本] タブを参照してください。

- ▶ アラーム履歴機能、データ履歴機能、操作履歴機能の履歴データを CSV ファイルとして出力する機能に、次の機能を追加しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

- デバイスの値を文字列として扱い、ファイル名を設定する
- ファイル名に出力時の日付、時刻を付加する
- 任意のタイミングで逐次出力を実行する

詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(12)の各機能の [メモ리카ード書込] タブを参照してください。

- ▶ アラーム履歴機能、データ履歴機能、操作履歴機能で逐次出力を選択時、履歴データのサイズがデータ保持領域の最大容量を超える前に、履歴データを CSV ファイルとして出力するようになりました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(12)の各機能の [メモ리카ード書込] タブを参照してください。

- ▶ 数値入力器にデータオーバーの上限値および下限値を表示する機能を追加しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(12)の 10-3 ページ「10 章 ■ 用途」を参照してください。

- ▶ データ履歴機能にチャンネル単位で履歴データを消去する機能を追加しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(12)の 14-18 ページ「14 章 ■ 履歴

データをクリアする」を参照してください。

- ▶ グローバルスクリプトで使用するスクリプトが最大 16 個まで設定できるようになりました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(12)の 20-14 ページ「20 章 3.2 [グローバルスクリプト設定] ダイアログボックス」を参照してください。

- ▶ マルチステートランプで OFF 時のイメージを設定できるようになりました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(12)の 9-24 ページ「9 章 [ステート] タブ」を参照してください。

- ▶ 棒グラフの次の設定項目で「固定値」または「デバイス」を個別に指定できるようになりました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

- 原点値
- 最小値
- 最大値

詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(12)の 11-4 ページ「11 章 ■ データ形式」を参照してください。

- ▶ 折れ線グラフで次の設定項目をデバイスの値で指定できるようになりました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

- 最小値
- 最大値
- 表示点数
- スクロール数

詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(12)の 11-22 ページ「11 章 [基本] タブ」を参照してください。

- ▶ パスワード入力画面のサイズを選択できるようになりました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(12)の 4-31 ページ「4 章 ■ パスワード入力画面のスイッチを大きくする」を参照してください。

- ▶ PLC プログラム転送機能が Ethernet 通信に対応しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

- ▶ IDEC SmartAXIS Pro/Lite に対応しました。対応機種追加に伴いホスト I/F ドライバの名称を変更しました。

- 旧： OpenNet(FC3A),MicroSmart(FC4A/FC5A)  
新： OpenNet,MicroSmart,SmartAXIS Pro/Lite(RS232C/485)
- 旧： Web Server Unit(FC3A/FC4A/FC5A)  
新： OpenNet,MicroSmart,SmartAXIS Pro/Lite(Ethernet)

- ▶ 三菱電機 MELSEC-FX の計算機リンク通信に対応しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

- ▶ ホスト I/F ドライバとして「Modbus/TCP Client」を選択した場合に設定として「function16 の代わりに、function6 を使う」を選択できるようになりました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ コマンドの画面切替で「サブ画面を閉じる」を設定していると、同じ画面に配置されている他の部品が表示されない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ サウンドファイルを再生中に動画を再生すると LSD72(再生中のサウンドファイルのサウンド ID)が 0 にならない。(HG4G/3G 形のみ)
- ▶ MICRO/I に SD メモリカードを挿入していると、USB ケーブルでプロジェクトを MICRO/I にダウンロードできないことがある(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ タッチ音にサウンドファイルを設定すると、次の問題が発生する。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
  - ビデオ入力を表示中にシステム画面を開けないことがある
  - 動画ファイルを再生し、「停止」ボタンを押す。次にサウンドファイルを再生すると、サウンドファイル再生終了後に動画の再生を再開する
- ▶ 数値入力器で、上限値や下限値を超える値を入力してもエラーが表示されない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ 折れ線グラフの“トレンドグラフ (ペンレコーダ)”で表示するグラフが 1 本のとき、表示の更新を停止するとグラフが消える。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ 折れ線グラフの“トレンドグラフ (通常)”または“トレンドグラフ (ペンレコーダ)”で、次の問題が発生する。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
  - 表示の更新を停止して右スクロールしても最も古いデータが表示できない
  - グリッド線を表示していた場合、グラフに表示している履歴データをクリアするとグリッド線も消える
  - グラフに表示されている履歴データが 1 点の状態、履歴データをクリアすると新しい履歴データが収集されてもグラフが更新されない
- ▶ 棒グラフの“ピークグラフ [横]”または“ピークグラフ [縦]”で最大値と最小値がどちらも 0 の場合、グラフが正しく表示されない。
- ▶ 折れ線グラフのチャンネル 17 から 20 を使用して 32 ビットデータを表示すると、グラフが正常に表示されないことがある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ ホスト I/F ドライバで、キーエンス KV-3000/5000 を選択時、X、Y、M のアドレス累進が PLC プログラミングソフトウェアと異なる。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 上記システムソフトウェアの機能アップに伴う機能及び設定項目を追加しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ プレビューや印刷で、数値入力器や数値表示器に設定した単位が部品からはみ出して表示されることがある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ プロジェクトの変換や保存時に次のエラーメッセージが表示されることがある。

- Disk Full Error

- ▶ 一括モニタでワードデバイスのビットを指定すると、**16** ビット目が表示されない。
- ▶ スクリプトを使用したプロジェクトを **MICRO/I** にダウンロードすると、**MICRO/I** 上にデバイス範囲エラーが表示されることがある。
- ▶ 次の場合、タグエディタでタグ名やコメントをインポートできないことがある。
  - デバイスのシンボルとアドレスの間にスペースがない
  - アドレスをゼロサプレスしている



# WindO/I-NV2 Ver.4.66

---

## <システム ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ サウンドファイルの再生が遅延することがある。(HG4G/3G 形マルチメディア機種のみ)
- ▶ ビデオ表示器でビデオ入力からの映像を表示した後、複数のサウンドファイルの起動デバイスの値を同時に 1 にする。このとき、優先順位の最も高いものが再生されず、2 番目のものが再生される。(HG4G/3G 形マルチメディア機種のみ)
- ▶ 次のドライバを使用すると、タイマ (接点) およびカウンタ (接点) の値が正常に読み出せない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
  - MELSEC-FX(CPU)
  - MELSEC-FX2N(CPU)
  - MELSEC-FX3UC(CPU)
- ▶ 画面を操作中にタッチパネルが反応しなくなることがある。(HG2G-5ST22VF 形のみ)

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 編集を繰り返すとファイルサイズが肥大化し、プロジェクトを開くのに時間が掛かるようになることがある。

# WindO/I-NV2 Ver.4.65

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 「MELSEC-FX2N (CPU)」 「MELSEC-FX3UC (CPU)」 ドライバで 9600bps 以外の通信速度に対応しました。対応する通信速度は機種に依存します。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ サブ画面に配置できる「読み出し元のデバイス」の最大点数を 64 点から 256 点に拡張しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ 「プロジェクト設定」の「互換性」タブで旧機種との互換機能に対応しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形で新規対応、HG 1 F/2F/3F/4F は対応済み)

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ ビデオ表示器でビデオ入力からの映像を表示するとそれ以降、サウンドファイルが再生されない。(HG4G/3G 形のみ)
- ▶ データサイズが 6M バイト以上のプロジェクトファイルがダウンロードされている MICRO/I で、Ethernet 経由のプロジェクトファイルのダウンロードに失敗することがある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ サウンド機能と以下の機能や設定でホストデバイスを使用し、WindO/I-NV2 からモニタを行うと MICRO/I がリセットする場合があります。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
  - システムエリア
  - グローバルスクリプト
  - プロジェクト設定のシステムのスイッチを無効にする
  - ユーザーアカウントのオプション
  - 予防保全
- ▶ ユーザー通信をイーサネットの TCP サーバーで使用している場合、通信中にサーバー側で接続を切断すると、クライアントからの再接続を受け付けないことがある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ 操作履歴の履歴データを一括出力する機能が動作しないことがある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 上記システムソフトウェアの機能アップに伴う機能及び設定項目を追加しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 大きなサイズのスクリプトを設定したプロジェクトをダウンロードすると **MICRO/I** がリセットすることがある。
- ▶ マルチスイッチ、マルチコマンドの「コマンド種類」で「画面切替」を選択時、「表示位置」の座標が **20** の倍数でないとエラーになる。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ HG2F/3F/4F 形のプロジェクトを HG2G-5F 形、HG3G/4G 形へ機種変更すると、**MICRO/I** でメモ리카ードに出力する履歴ファイルの名前が不正になることがある。
- ▶ 通信ドライバが **Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag)** のとき、部品や設定に割り付けたタグが変更されてしまうことがある。
- ▶ 「WindO/I-NV2 のオプション」で「アドレスとビットの区切り記号」を「ドット区切り」にし、ビット指定したワードデバイスを含むスクリプトをプロジェクトで使用する。このとき、運転中に **MICRO/I** がスクリプトエラーを表示することがある。

# WindO/I-NV2 Ver.4.64

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 通信ドライバが Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag) のとき、プロジェクトを編集してダウンロードすると MICRO/I でホスト通信エラーが発生する場合があります。

# WindO/I-NV2 Ver.4.63

---

## <システム ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 数値表示器や数値入力器の単位に **Windows** フォントを使用した場合、フランジの一部がプレート色で塗りつぶされることがある。(HG2G-5S/-S 形のみ)

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ **Ver.4.44** 以前のバージョンで保存したプロジェクトを **Ver.4.62** で開くと、プロジェクト設定ダイアログボックスを閉じる際、エラーメッセージが表示されることがある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 部品の動作条件で、[条件種別] に“条件成立中”または“条件成立時”を選択すると、エラーメッセージが表示される。(HG4F/3F/2S/2F/1F 形のみ)

# WindO/I-NV2 Ver.4.62

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ プロジェクトをアップロード時に、メモ리카ードのメモ리카ードフォルダからプロジェクトで使用しているファイルのみアップロードするように改善しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 数値入力器で数値を入力時に単位を [表示時] の色で表示するように改善しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 時計の通知デバイスが不規則に ON/OFF する場合があります。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ デジタル出力 (ビット) LEY に間接書き込みを行うと、MICRO/I の部品や機能では正しく処理されるが、増設モジュールからは出力されない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 数値表示器や数値入力器、文字入力器で間接書き込みや読み出しに使用しているデバイスの値が不正であったり、変更中であった場合、これらの部品で動作条件による表示の切り替えや画面の重ね合わせが正常に動作しないことがある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 間接書き込みや間接読み出しを設定している数値入力器や数値表示器で、動作条件によって部品の表示を切り替えると「デバイス範囲エラー」が表示されることがある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ 数値や文字を\* (アスタリスク) で表示するに設定した数値入力器や文字入力器で、入力用のキーパッドの表示部に入力した値が表示される。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ [常に入力状態とする] を選択した数値入力器で、値を入力中に動作条件によって部品を非表示にし、再度表示後値を入力すると意図しない桁に数字が表示される。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ マルチメディア機能設定ダイアログボックスの記録タブで [イベント録画機能を使用する] を選択すると、ビデオ表示器で [自動再生する] を選択しても自動再生されない。(HG4G/3G 形のみ)
- ▶ 動画の再生開始直後にダウンロードやアップロードを実行する、またはシステムモードへ切り替えると MICRO/I が動作を停止する。(HG4G/3G 形のみ)
- ▶ 運転開始直後、動画ファイルを再生できないことがある。(HG4G/3G 形のみ)
- ▶ データ履歴設定で、「サンプリング回数がしきい値に達した時に通知する」や「使用率がしきい値に達した時に通知する」にホスト機器のワードデバイスのビットを指定すると、通知先に不正な値を書き込む。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ 動画ファイルを再生時、ビデオ表示器より小さいサイズで表示される場合がある。(HG4G/3G 形のみ)

## <アプリケーション ソフトウェア>

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ スクリプトで **MEMCPY** と **MEMCMP** を使用するとエラーになることがある。
- ▶ マルチステートランプで使用している **NMF** 図形をポップアップメニューの [ピクチャマネージャに登録] で上書きすると、[設定一覧] の設定が未登録になることがある。
- ▶ 特殊スイッチ **Alt** の設定でサブ画面番号が変更できない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形、Windows 7 64bit 版上のみ)
- ▶ プロジェクト設定ダイアログボックスを閉じる際、「デバイスが設定されていません」というエラーメッセージが表示されてダイアログボックスを閉じられなくなることがある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ 部品や各機能に使用しているデバイスをスクリプトで使用すると、タグエディタやクロスリファレンスの情報が不正になることがある。
- ▶ 数値表示器や数値入力器で数値や単位が指定したフォントで表示されない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形でのみ)
- ▶ スクリプトを使用したプロジェクトを運転中に **MICRO/I** でデバイス範囲エラーが表示されることがある。
- ▶ マルチスイッチの [ファンクション一覧] でリストの先頭にスクリプトを設定していると、[表示切替方式] で指定したデバイスの値が変化してもイメージが切り替わらない。
- ▶ ピクチャマネージャに登録した **JPEG** ファイルが [詳細] の [サイズ] で **0x0** と表示される。(HG2G-5S/-S 形のみ)
- ▶ エクスプローラ でプロジェクトファイルの名前を変更すると、**WindO/I-NV2** で開けなくなることがある。(HG2G-5S/-S 形のみ)
- ▶ タグエディタで **16** 進数表記のデバイスアドレスを選択し、ツールバーから [クロスリファレンス] をクリックすると、異なるアドレスの情報が表示されることがある。
- ▶ ホスト **I/F** ドライバが **MITSUBISHI-MELSEC-Q/QnA(Ethernet)** の時、タグエディタでデバイスタイプ **WB**、**WX**、**WY** のアドレスが正しく表示されない。
- ▶ **MICRO/I** で部品が表示されないことがある。

# WindO/I-NV2 Ver.4.61

---

## <システム ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ ユーザー通信機能で「デバイス」「登録定数 (文字)」「登録定数 (16 進数)」のいずれかが送信コマンドに含まれていると通信が停止し、表示器がリセットする。
- ▶ Web サーバー機能を長期間使用しているとクライアントから接続できなくなることがある。
- ▶ Web サーバー機能の「システム情報」「システム詳細情報」ページで「スレーブオンライン情報」に表示される情報が正しくない。

## <ホスト I/F ドライバ>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ オムロン SYSMAC CS1/CJ シリーズ(Ethernet)ドライバで PLC の状態が本体停止異常、本体継続異常であった場合に通信エラーとなる不具合を修正。

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 通信ドライバが Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag) のとき、タグデータベースファイル (L5K ファイルおよび CSV ファイル) をインポートするときに表示されるエラーメッセージに「今後表示しない」オプションを追加しました。

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ Ver.4.50 または Ver.4.51 で保存したプロジェクトを Ver.4.60 でアップロードするとすべての設定が消える。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)
- ▶ 通信ドライバが Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag) のとき、ホストデバイスを設定した部品を削除したあと、そのプロジェクトをダウンロードすると MICRO/I でホスト通信エラーが発生する場合がある。
- ▶ マルチステートランプの記名文字にテキストマネージャで登録したテキストを設定したプロジェクトをダウンロードすると、MICRO/I で表示されない場合がある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ Ver.4.44 以前のバージョンで保存したプロジェクトに ASCII2DEC、STRSTR、STRLEN 関



数を使用したスクリプトが設定されている場合、V4.50以降、V4.60以前のバージョンでこのプロジェクトを開くとスクリプトマネージャでNGと表示される。

- ▶ Ver.4.44以前のバージョンで保存したプロジェクトをV4.50以降、V4.60以前のバージョンで開くと、“Disk is full”というエラーが表示される場合がある。
- ▶ ホスト I/F ドライバの設定で「接続形式」を「1;N 通信」で作成したプロジェクトを「1:1 通信」に変更すると、局番 0 以外を設定していたデバイスの値を読み書きできなくなる。
- ▶ プロジェクトをバージョンアップ変換または表示器機種変換すると、アラーム履歴表示器のデータが不正になり、このプロジェクトをダウンロードすると MICRO/I がリセットする。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)
- ▶ HG1F/2F/2S/3F/4F 形からアップロードしたプロジェクトデータで表示器機種を HG4G/3G 形、HG2G-5F 形に変更すると、ピクチャデータが消える場合がある。

# WindO/I-NV2 Ver.4.52, 4.60

---

## WindO/I-NV2 Ver.4.60 の変更内容

### <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ プロジェクト設定のホスト I/F ネットワークで設定した接続機器の IP アドレスをシステムメニューから変更できるようになりました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形) 詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(11)の 33-13 ページ「33 章 ■ Host I/F Network (ホスト I/F ネットワーク)」を参照してください。
- ▶ ユーザー通信の送受信データサイズを 1500 バイトに拡張しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形) 詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(11)の 3-10 ページ「3 章 ● 送信コマンド設定 - 定数」および 3-18 ページ「3 章 ● 受信コマンド設定 - 定数」を参照してください。
- ▶ 文字の拡大率に 5 倍、6 倍、7 倍を追加しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形) 詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(11)の各オブジェクトの [拡大率] を参照してください。
- ▶ 遠隔監視および遠隔操作機能の実行間隔を最大 5000 ミリ秒まで拡張しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形) 詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(11)の 27-3 ページ「27 章 [実行間隔 (ミリ秒)]」を参照してください。
- ▶ EX4R 形に対応しました。
- ▶ PLC プログラム転送機能で FC5A-D12 に対応しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形)
- ▶ 録画機能を改善しました。(HG4G/3G 形) 詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(11)の 22-14 ページ「22 章 [記録] タブ」を参照してください。

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 遠隔監視、遠隔操作機能や定周期スクリプトを使用すると時計データが不正な値になることがある。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形)
- ▶ 描画図形の文字でスタイルに影付きを選択すると、背景色が表示されない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形)
- ▶ [通信エラーを無視して運転を続ける]を選択したプロジェクトを O/I リンクスレーブにダウンロードするとネットワークオフラインが表示され動作しない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形)
- ▶ [通信エラーを無視して運転を続ける]を選択したプロジェクトを O/I リンクマスタにダウンロードすると、ホスト通信エラーが発生した際 O/I リンクスレーブがネットワークオフラインから復帰しない。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形)

### <ホスト I/F ドライバ>

以下の PLC に対応しました。

- ▶ 安川電機 MP2000 シリーズ (Ethernet)
- ▶ 三菱電機 MELSEC-Q/QnA (Ethernet) ドライバの通信速度を改善しました。(HG2G-S/-5S/-5F 形、HG3G/4G 形)
- ▶ HG2G-5S/-S 形が Emerson ROC Protocol ドライバに対応しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形は対応済み)

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ [すべて選択] (編集ウィンドウ上のオブジェクトをすべて選択する) を追加しました。[画面番号を付けて保存]のショートカットを **Ctrl+G** に変更し、ショートカット **Ctrl+A** を [すべて選択]に割り付けました。
- ▶ 上記システムソフトウェアの機能アップに伴う機能及び設定項目を追加しました。
- ▶ 表示器機種の変更を行う際に、変換規則の設定で「変換後の画面サイズに合わせて部品の座標とサイズを変更する」を選択すると、登録したテキストのサイズや画面の表示位置を自動的に調整する機能を追加しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ ホスト IF ドライバが Allen-Bradley Ethernet/IP (Logix Native Tag) のとき、タグをデバイスアドレスに使用すると WindO/I-NV2 が強制終了することがある。
- ▶ オブジェクトを複数選択して移動すると、一部のオブジェクトが意図した位置にならないことがある。
- ▶ 編集ウィンドウのズームを 100%以上にしていると、オブジェクトを選択したときにカーソルが意図しない位置に移動することがある。
- ▶ HG2G-S/-5S 形のプロジェクトを作成し、セレクトスイッチを配置し、画面を閉じる。画面を再度開くと、セレクトスイッチが(0, 0)の位置に表示される。
- ▶ 古いバージョンで作成されたプロジェクトを開くと、デバイス情報が不正になることがある。
- ▶ ピクチャマネージャを開いたとき、サムネイルが表示されないことがある。

## WindO/I-NV2 Ver.4.52 の変更内容

### <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ HG4G/3G 形、HG2G-5F 形で、外部メモリーに保存したプロジェクト(ZNV 形式) をダウンロードする場合、これらのプロジェクトにパスワードが設定されていてもパスワードの確認が表示されなくなりました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ HG4G/3G 形、HG2G-S/-5S/-5F 形にスタートタイムを設定していると、WindO/I-NV2 の[オンライン] タブから[モニタを開始]を選択しても、正常にモニタできない。
- ▶ HG4G/3G 形、HG2G-5F 形で、[プロジェクト設定] ダイアログボックスの [Web サーバー] タブの [遠隔操作/監視] および [ポート番号] の設定内容が反映されない。
- ▶ HG4G/3G 形、HG2G-5F 形の遠隔操作機能で、Web ブラウザーに MICRO/I の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレスが正しく表示されない。
- ▶ HG2G-S/-5S 形で、ベース画面に使用しているホスト機器から読み出すデバイスの合計が 256 個でもデバイス範囲エラーが表示されることがある。
- ▶ HG4G/3G 形、HG2G-5F 形でパスワードが設定されている MICRO/I で電源投入時に画面の右上を押すと、パスワードの確認が表示されずにシステムモードに切り替わる。

# WindO/I-NV2 Ver.4.50, 4.51

---

## WindO/I-NV2 Ver.4.51 の変更内容

### <システム ソフトウェア>

#### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ ホスト通信エラーが発生している間に、Downloader でデバイスデータの書き込みを実施するとリセットする。(HG4F/EX4R/HG3F/2F/2S/1F 形のみ)
- ▶ 次の全ての条件が成立している場合に、データ履歴機能でデータ履歴のデータをデバイスにコピーできない。(HG3G/4G 形、HG2G-5F 形のみ)
  - データサイズが 32 ビット。
  - サンプルングしたデータの数履歴格納数より多い。
  - 「コピーの対象となるデータ」の終了番号が 2 以上である。

### <アプリケーション ソフトウェア>

#### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ スクリプトを保存時、ビット指定したワードデバイスに局番が付加されエラーになる。(例：LDR0000-0→0: LDR0000-0)
- ▶ ビット指定したワードデバイスに割り付けたタグ名を、部品や機能のデバイスアドレスの設定で使用するとエラーになる。

## WindO/I-NV2 Ver.4.50 の変更内容

### <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 部品の表示をデバイスの値や条件で切り替える機能を追加しました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のみ)  
詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(9)の各部品の [動作条件] タブを参照してください。
- ▶ ユーザー通信をイーサネットインタフェースに設定できるようになりました。(HG4G/3G 形、HG2G-5F/-5S/-S 形のみ)  
詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(9)の 4-32 ページ「4 章 3.2 [通信インタフェース] タブ」を参照してください。

- ▶ メモリカード書き込み中フラグ (LSM24) を追加しました。(HG4G/3G 形, HG2G-5F 形のみ)

詳細は、WindO/I-NV2 ユーザーズマニュアル B1118(9)の 32-3 ページ「32 章 表示器特殊内部リレー (LSM)」を参照してください。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 登録図形を画面に使用すると表示の更新速度が遅くなる。(HG4G/3G 形, HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 特定のサイズのビットマップが正常に表示されない。(HG4G/3G 形, HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 画面を重ね合わせて使用すると、デバイス範囲エラーが表示されないことがある。
- ▶ [動作条件] タブの [入力条件] や [オプション] タブの [セキュリティグループ] の [入力用] を使用して入力禁止になった数値入力器や文字入力器に、フォーカスを移動すると入力できてしまう。
- ▶ WindO/I-NV2 では部品に表示される文字の表示領域枠内に収まっている文字が、MICRO/I では表示されない場合がある。(HG4G/3G 形, HG2G-5F 形のみ)
- ▶ [データ転送] の [ファイルコピー] キーを設定した特殊スイッチでコピーを実行すると実行結果ウィンドウが表示されないことがある。(HG4G/3G 形, HG2G-5F 形のみ)
- ▶ [データ転送] の [ファイルコピー] キーで [転送先] を空白にした特殊スイッチでコピーを実行すると、名前のないフォルダが作成される。(HG4G/3G 形, HG2G-5F 形のみ)
- ▶ O/I リンクスレーブに設定した MICRO/I に挿入されているメモリカードからデータをアップロードできない。(HG4G/3G 形, HG2G-5F 形のみ)
- ▶ 一部のパソコンで Internet Explorer から Web サーバー機能が使用できない。(HG4G/3G 形, HG2G-5F 形のみ)

## <ホスト I/F ドライバ>

以下の PLC に対応しました。

- ▶ 富士電機 MICREX-SX (Serial)
- ▶ 富士電機 MICREX-SX (Ethernet)
- ▶ Emerson Floboss107

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 以下のホスト I/F ドライバで [接続形式] に [1 : N 通信] を選択した場合、局番とアドレスの組み合わせによっては指定したものと異なるアドレスの値を読み出すことがある。
  - Ethernet/IP
  - Logix DF1(Full Duplex)
  - DirectLogic(Ethernet)
  - KV(Ethernet)
  - MELSEC-FX3U(Ethernet)

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 上記システムソフトウェアの機能アップに伴う機能及び設定項目を追加しました。
- ▶ プロジェクトを新規作成時に、表示器特殊内部レジスタ(LSD)と表示器特殊内部リレー(LSM)の説明がコメントに登録されるようになりました。
- ▶ ベース画面の重ね合わせが設定されている場合、重ねられている画面が表示されるようにデフォルトの設定を変更しました。[表示] タブの [表示/非表示] にある、[重ね合わせ画面] で設定を変更することができます。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ [機種] を HG4G/3G 形から HG2G-5F 形へ変更したとき、サブ画面のサイズが正しく変更されない場合がある。
- ▶ WindO/I-NV2 Ver.2.50 以前のバージョンで保存したプロジェクトを Ver.4.00 以降で開き、表示器機種を HG4F/3F/2F 形から HG4G/3G 形、HG2G-5F 形に変更すると通信インターフェースタブの設定が正常に変換されないことがある。
- ▶ 次の条件で、レシピ設定のデータタブで[データ一覧]の一部で値が 0 になることがある。
  - 表示器機種を変更する。
  - プロジェクトをアップロードする。
  - レシピ設定のレシピアクセス先をメモリカードから内蔵メモリに変更する。
- ▶ スクリプトエディタでタグ名がエラーとして判定される場合がある。
- ▶ プロジェクトを開いたとき、NV2 メタファイル(NMF)のサイズが変わってしまうことがある。
- ▶ プロジェクトや画面の設定内容が変更されていなくてもプロジェクトを閉じる際やダウンロード時に保存の確認が表示されることがある。
- ▶ イーサネット経由でプロジェクトをダウンロードすると、システムソフトウェアのダウンロードに失敗することがある。
- ▶ WindO/I-NV2 Ver.4.44 で作成した HG4G/3G 形、HG2G-5F 形のプロジェクトを使用すると、表示器上のスイッチを押した時に押していないスイッチが動作する場合がある。  
この問題が発生するプロジェクトを WindOI-NV2 Ver.4.51 で開いた際は、キーパッドなどの問題が発生しているスイッチを配置し直すことで問題を解消することができます。  
(例：スイッチの切り取り、貼り付けや問題の発生している画面の複製など)
- ▶ メモリカードからのデータのアップロードに失敗することがある。
- ▶ プロジェクトのダウンロードで[更新データのみ]を選択し、キャンセルボタンでダウンロードを中断または通信エラーでダウンロードに失敗した場合、[更新データのみ]を選択してのダウンロードができなくなる。

# WindO/I-NV2 Ver.4.44

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ HG3G/4G 形（ビデオインターフェース搭載機種）に録画機能を追加しました。
- ▶ HG2G-S/-5S/-5F 形、HG3G/4G 形 でアラーム履歴設定のブロック数が最大 128 に増えました。
- ▶ データ保持領域設定で、次の機種のアラーム履歴のデータ格納数が増えました。
  - HG2G-S/-5S 形: 5,520 点
  - HG2G-5F 形、HG3G/4G 形: 11,660 点
- ▶ HG3G/4G 形(ビデオインターフェース搭載機種) で、全画面表示時に動画の表示倍率が 2 倍以上になると自動で表示倍率を 2 倍に調整し、センタリングする機能を追加しました。
- ▶ HG3G/4G 形(ビデオインターフェース搭載機種) で接続機器の電源を投入した順に関わらず、ビデオ入力からの映像を表示するように改善しました。
- ▶ HG3G/4G 形（ビデオインターフェース搭載機種）の特殊スイッチに [スロー再生] と [コマ送り] を追加しました。
- ▶ AUDIO IN, AUDIO OUT の接続はステレオミニプラグをご使用ください。モノラル機器を接続する場合は、市販の変換アダプタなどをご使用ください。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ HG3G/4G 形(ビデオインターフェースを搭載していない機種)で、特定のサンプリング周波数の音が正常に再生されない。
- ▶ 遠隔操作機能で HG2G-5F 形、HG3G/4G 形をモニタすると、システム情報ページの表示器機種が常に"HG3G-\*"と表示される。
- ▶ HG3G/4G 形(ビデオインターフェース搭載機種) で動画を再生終了時に画像が表示されたままになる場合がある。
- ▶ HG3G/4G 形(ビデオインターフェース搭載機種) で動画ファイル選択画面の表示が更新されない場合がある。
- ▶ HG2G-S/-5S/-5F 形、HG3G/4G 形で発生したアラームの数がアラーム履歴のデータ格納数を超えると、リセットする、またはアラームリスト表示器やアラーム履歴表示器でデータが表示されない場合がある。

## <ホスト I/F ドライバ>

以下のドライバを機能拡張しました。

- ▶ HG2G-S/-5S/-5F 形、HG3G/4G 形で Allen-Bradley PLC-5 (Half Duplex)の使用可能なデバイスの範囲を拡張しました。



## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 以下のホスト I/F ドライバで「通信エラーを無視して運転を続ける」を選択した場合、ホストデバイスの値が部品や設定に反映されない場合がある。
  - OpenNet(FC3A),MicroSmart(FC4A/FC5A)
  - DirectLogic-DL205/405
  - Modbus RTU
  - MODBUS/TCP Client
  - Web Server Unit(FC3A/FC4A/FC5A)
  - Ethernet/IP
  - MELSEC-Q/QnA(Ethernet)
  - Logix DF1(Full Duplex)
  - DirectLogic(Ethernet)
  - SYSMAC CS1/CJ Ethernet
  - Modbus ASCII
  - KV(Ethernet)
  - Ethernet/IP(Native Tag)

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ 上記システムソフトウェアの機能アップに伴う機能及び設定項目を追加しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ [変換後の画面サイズに合わせて部品の座標とサイズを変更する]を選択して、[表示器機種の変更]を実行すると、プロジェクトを MICRO/I にダウンロード後、MICRO/I で表示される部品のサイズが WindO/I-NV2 上で表示されるサイズと異なる。
- ▶ HG2G-S/2G-5S 形のプロジェクトのファイル名をエクスプローラーで変更すると、ダウンロードできなくなる。
- ▶ WindOI-NV2 Ver.4.24 以前のバージョンで HG2G-S 形にダウンロードしたプロジェクトをアップロードする。この時、バージョンアップ変換でプロジェクト名を変更するとデバイスの設定がすべて消える。

# WindO/I-NV2 Ver.4.43

---

## <システム ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ HG2G-5S 形で電源を入れた後、リセットを繰り返して **POWER LED** が点滅し続け、起動しないことがある。
- ▶ ベース画面またはサブ画面から、別のサブ画面で使用している接続機器のワードデバイスに対してビット書き込みを行うと、意図しない値が書き込まれることがある。  
(HG1F/2F/2S/3F/4F 形は 1 : N 通信時のみ)
- ▶ 接続機器のビットデバイスを以下の機能で使用している場合、その値を正常に読み出せないことがある。(HG1F/2F/2S/3F/4F 形は 1 : N 通信時のみ)
  - アラーム履歴
  - データ履歴
  - 操作履歴
  - 間接指定
  - Web サーバー機能のデバイスモニタ
  - WindO/I-NV2 のモニタ
- ▶ HG2G-5F 形、HG3G/4G 形で文字入力器をキーパッドの表示部として使用しているとき、文字が適切なフォントで表示されない。

# WindO/I-NV2 Ver.4.42

---

## <システム ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ HG2G-S/-5S/-5F 形, HG3G/4G 形で以下のホスト I/F ドライバを使用している場合、電源投入時に表示器が起動しないことがある。もしくは、WindO/I-NV2 からのダウンロード・アップロード時に通信が失敗し、表示器が停止することがある。
  - Modicon Modbus RTU
  - Modicon Modbus ASCII
  - SIEMENS S7 MPI
  - SIEMENS S7-200(PPI)
  - 安川電機 MP920-RTU
- ▶ HG2G-S/-5S/-5F 形, HG3G/4G 形で WindO/I-NV2 から Ethernet 経由でのダウンロード・アップロード・パススルーが失敗し、再接続ができないことがある。また、遠隔操作が行えない状態になることがある。
- ▶ HG2G-5F 形, HG3G/4G 形で SD メモリカードが認識できないことがある。

## <ホスト I/F ドライバ>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 光洋電子 KOSTAC-SU,SZ ドライバを使用すると、PLC デバイスの値が更新されないことがある。
- ▶ キーエンス KV-3000/5000 ドライバのリンクリレー (B)、ワークリレー (VB)、リンクレジスタ (W) の値が正常に表示されないことがある。また、これらのデバイスへの書き込みが正常に反映されないことがある。

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ レシピ設定のブロックタブで [レシピアクセス先] に [内蔵メモリ] を選択していると、データタブの [データ一覧] の値が設定されず、常に 0 になる。

# WindO/I-NV2 Ver.4.41

---

## <ホスト I/F ドライバ>

以下の PLC に対応しました。

- ▶ 三菱電機 FX3U (Ethernet)
- ▶ 横河電機 FA-M3 (Ethernet)

以下のドライバを機能拡張しました。

- ▶ キーエンス KV5000 ドライバで使用可能なデバイスとアドレスの範囲を追加しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ HG2G-5F 形、HG3G/4G 形で、Allen-Bradley Ethernet/IP ドライバを使用すると通信エラーとなる。
- ▶ HG2G-S/-5S 形でキーエンス KV(Ethernet)ドライバ使用時に通信が遅くなったり、通信エラーが表示される場合がある。

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 拡張子以外でピリオド(.)をプロジェクト名に使用したプロジェクトで、表示器の機種を変更すると表示器内部デバイスを設定していた箇所が空白になる。
- ▶ 古いバージョンで作成したプロジェクト開くと、表示器の機種を変更できなくなる場合がある。
- ▶ HG2S 形にプロジェクトをダウンロードすることができない。
- ▶ ピクチャマネージャに複数のピクチャが登録されているとき、ピクチャを削除してからピクチャマネージャを閉じ、再度ピクチャマネージャを開くと WindO/I-NV2 が強制終了する場合がある。

# WindO/I-NV2 Ver.4.40

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ HG2G-5S 形、HG2G-5F 形、HG3G/4G 形マルチメディアタイプに対応しました。
- ▶ HG3G/4G 形のマルチメディアタイプで動画ファイルの再生とビデオ入力信号の表示機能に対応しました。
- ▶ HG2G-5F 形、HG3G/4G 形の印刷機能でレターサイズに対応しました。(HG2G-S/-5S 形では対応していません)
- ▶ HG2G-S/-5S/-5F 形、HG3G/4G 形の数値入力器で特殊スイッチの Back Space (BS) キーに対応しました。
- ▶ HG2G-S 形のユーザー通信で全二重通信に対応しました。
- ▶ HG3G 形で印刷時、プリンタ側の設定で用紙タイプが「普通紙」に該当するトレイから印刷するように改善しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ HG3G 形で動作モードを切り替える (システムモードから運転モードに切り替える等) と、SD メモリカードを認識できずに運転を停止することがある。
- ▶ HG3G 形で遠隔操作機能を使用時に画面表示が OFF になっても Web ブラウザ上では画面が表示されたままとなる。
- ▶ HG3G 形で電源投入時に増設モジュールを認識しないことがある。
- ▶ HG2G/3G 形で、以下のスイッチが重なっている場合、プロジェクト設定のシステムタブで「2 点押しを有効にする」を設定しても 同時に処理されない。
  - ベース画面上のスイッチ
  - スーパーインポーズを設定したサブ画面上のスイッチ
- ▶ HG3G 形で DM リンク通信を使用時、ホストからのコマンドに対する応答とイベント送信が同時に発生すると、運転を停止することがある。

## <ホスト I/F ドライバ>

以下の PLC に対応しました。(HG3G 形)

- ▶ PLC-5 (Half Duplex)
- ▶ SLC 500 (Half Duplex)
- ▶ S7-300 3964(R)/RK512
- ▶ Power Mate-MODEL D/Series 16i
- ▶ MP920-RTU
- ▶ MICRO3,MICRO3C

- ▶ Ethernet/IP (Logix Native Tag)

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ HG2G/3G 形で MODBUS/TCP Server を選択時、クライアントを 3 台以上接続すると通信できなくなる。また、接続、切断を繰り返すと通信できなくなる。
- ▶ 光洋電子 KOSTAC-SU,SZ ドライバを使用すると、PLC と通信できない。

## <アプリケーション ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。

- ▶ HG2G-5S 形、HG2G-5F 形、HG3G/4G 形マルチメディアタイプに対応しました。
- ▶ 上記システムソフトウェアの機能アップに伴う機能及び設定項目を追加しました。
- ▶ 表示器機種変換時に画面サイズに合わせて部品や描画図形のサイズを自動的に変換する機能を追加しました。このオプションは、表示器機種の変更を選択後に変換規則の設定ダイアログボックスで表示されます。
- ▶ プロジェクト データを比較して、画面単位で設定内容の差異を表示する機能を追加しました。プロジェクト データを比較するには、[ホーム]タブの [プロジェクト] で[比較] をクリックします。
- ▶ スクリプトマネージャに、各スクリプト ID の使用状況を表示する機能を追加しました。スクリプト一覧の [使用] で使用状況を確認できます。
- ▶ プロジェクトデータのダウンロードと同時に、ピックアップデータやサウンドデータをメモリカードにダウンロードするかしないかのオプションを追加しました。
- ▶ WindO/I-NV2 が異常終了した場合、デバイスアドレスの使用情報に影響を及ぼす場合があります。デバイスアドレスの使用情報を再構築するコマンドを追加しました。プロジェクトウィンドウのタグエディタを右クリックし、[再構築] をクリックします。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ タグ エディタやクロス リファレンスでデバイスの使用情報が不正になる。
- ▶ 古いバージョンのプロジェクトを開いた時、設定していたデバイスアドレスが消えることがある。
- ▶ HG3G 形を使用し、通信設定でポートに USB を設定時、モニタまたはシミュレーション中にプロジェクトをダウンロードすると、ダウンロード完了後にモニタやシミュレーションを再開しない。

## <Downloader>

以下の機能に対応しました。

- ▶ HG2G-5S 形、HG2G-5F 形、HG3G/4G 形マルチメディアタイプに対応しました。
- ▶ 表示器キーレジスタ (LKR) および表示器キープリレー (LK) をクリアせずにプロジェクトをダウンロードするコマンドラインを追加しました。

- ▶ ピクチャデータやサウンドデータをメモ리카ードにダウンロードせずにプロジェクトをダウンロードするコマンドラインを追加しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ HG2G-S 形にプロジェクトをダウンロードできない。

## <USB オートラン定義ファイル生成ツール>

USB オートラン機能を利用する際に必要な USB オートラン定義ファイルを生成する、USB オートラン定義ファイル作成ツールを追加しました。スタートメニューから、**Automation Organizer**、**WindO/I-NV2** をクリックし、**USB オートラン定義ファイル作成ツール** をクリックします。

## <マニュアル>

- ▶ インストラクション マニュアルをユーザーズ マニュアルに名称変更しました。
- ▶ ハードウェア マニュアルをユーザーズ マニュアルに統合しました。

# WindO/I-NV2 Ver.4.32

---

## <システム ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ 4MB 以上のプロジェクトデータが HG3G 形にダウンロードされている場合、ダウンロードに失敗する。
- ▶ HG3G 形でバックライトが消灯している時、リモート機能による遠隔操作ができない。
- ▶ プロジェクト設定でスイッチを無効にしている時、リモート機能による遠隔操作ができる。
- ▶ 表示切替方式を"デバイス"、ON の図形を"点滅"に設定したスイッチが点滅しない。



# WindO/I-NV2 Ver.4.31

---

## <システム ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ O/I リンクで通信中に画面の切り替えが発生すると、O/I リンクの通信エラーが発生する場合や MICRO/I がリセットする場合があります。ただし、HG1F/2F/3F/4F 形では 1:N 通信を使用時のみ、この問題が発生する。
- ▶ HG3G 形で部品を重ねて配置した場合、重なっている部品が正常に表示されない。
- ▶ HG3G 形で Windows フォントのサイズによって表示器がリセットする。

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ ピクチャマネージャで、プロジェクトに登録したピクチャを削除し、新たにピクチャファイルをインポートすると、その後、画面に設定していたピクチャと異なるピクチャが表示される場合があります。
- ▶ Ver.4.2\*で作成した HG3G 形用のプロジェクトでピクチャを多数登録していると、このプロジェクトを Ver.4.30 で開く、あるいはアップロードしたときに、「メモリ不足」のエラーメッセージが表示される。

# WindO/I-NV2 Ver.4.30

---

## <システム ソフトウェア>

以下の機能に対応しました。(HG3G 形)

- ▶ パソコンや PDA などの Web ブラウザー端末を利用して、リモートでメンテナンスをすることができるようになりました。
- ▶ 縦置きに対応しました。
- ▶ 折れ線グラフで、グラフ上にカーソルおよびカーソル位置の時刻表示ができるようになりました。
- ▶ データ履歴で、32 ビットのデータ (BIN32+、BIN32+/-、BCD8 および float32) に対応しました。
- ▶ 以下の部品に登録図形を設定できるようになりました。
  - 数値入力器、数値表示器、文字入力器、メッセージ表示器、メッセージ切替器、時計、メータ
- ▶ PictBridge 対応プリンタに対応しました。画面イメージとアラーム履歴のデータを印刷ができるようになりました。
- ▶ 輝度の調整範囲を 48 段階に拡張しました。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。(HG3G 形)

- ▶ 図形表示器をサブ画面の最上部に配置していると、画面のタイトルが一部欠ける。
- ▶ 図形表示器の読出デバイスが設定範囲外となった場合に、リセットする場合がある。
- ▶ メータの針が正常に表示されない場合がある。
- ▶ 折れ線グラフの Y 軸のラベルに Windows フォントを使用すると、文字が正常に表示されない。
- ▶ 折れ線グラフで表示点数とスクロール点数の値が近い場合、スクロールする時に描画が停止する。

## <ホスト I/F ドライバ>

以下の PLC に対応しました。(HG3G 形)

- ▶ Modbus TCP Server
- ▶ 光洋電子 DirectLogic(Ethernet)
- ▶ GE Fanuc Automation Series 90(SNP-X)
- ▶ キーエンス KV Ethernet
- ▶ LS 産電 MASTER-K
- ▶ VIGOR VB/VH
- ▶ 横河電機 FA-M3

- ▶ JTEKT TOYOPUC
- ▶ 富士電機 FREX-PC(CPU)
- ▶ 富士電機 FREX-PC(LINK)
- ▶ 富士電機 MICREX-F
- ▶ 東芝 PROSEC-T

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ IDEC FA3S からタイマおよびカウンタの設定が正常に読み出せない。
- ▶ キーエンス KV1000 の CPU ポートと通信を行う場合に、表示器をリセットすると通信できなくなる。
- ▶ COM1 と COM2 に異なる通信速度を設定していると、以下の現象が発生する。
  - SIEMENS S7-MPI ホスト I/F ドライバ： COM2 で 187500bps が通信できない。
  - SIEMENS S7-200(PPI) ホスト I/F ドライバ： COM2 で通信できない。
  - キーエンス KV700/1000 ホスト I/F ドライバ： KV1000 の CPU ポートと通信を行う場合に、COM2 で設定した通信速度が正常に反映されない。
  - DM リンク(1:1) ホスト I/F ドライバ： COM2 でイベント送信が行えない。
  - MELSEC-Q(CPU) ホスト I/F ドライバ： COM2 で設定した通信速度が正常に反映されない

## <アプリケーション ソフトウェア>

- ▶ 上記システムソフトウェアの機能アップに伴う機能及び設定項目を追加しました。
- ▶ HG3G 形用に、以下の部品の部品ライブラリおよびピクチャデータを追加しました。
  - 数値入力器、文字入力器、メッセージ表示器、メッセージ切替表示器、数値表示器、時計、メーター
- ▶ スクリプトエラーの表示する／表示しないを指定できるようになりました。
- ▶ 画面のスキャン時間（画面上の部品処理）に影響を受けることなく、一定時間で実行するスクリプト（定周期スクリプト）を設定できるようになりました。拡張ユニットを使用時に有効な機能です。

## 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ Windows の「画面プロパティ」で「DPI 設定」を「通常のサイズ」以外に設定していると、プロジェクトを新規作成、あるいは開いた後に WindOI-NV2 が強制終了する。
- ▶ ホスト I/F ドライバによって、ホスト通信プロトコルの「シリアルインタフェース」に不適当な選択肢が表示される場合がある。
- ▶ 旧バージョンで作成したプロジェクトを開き、新しいバージョンにデータを変換する。この時、新しいプロジェクト名に 2 個以上のスペースあるいは"."（ピリオド）が含まれていると、プロジェクトで使用しているホストデバイスの設定がすべてクリアされる。
- ▶ マルチスイッチやマルチコマンドにスクリプトを設定する。このスクリプトに設定したホ

ストデバイスが、同じ画面上の他の部品で設定されていない場合、表示器本体でこのデバイスの値を正しく読むことができない。

- ▶ データ履歴を設定中に、データ保持領域の空き容量が十分にあるにもかかわらず空き容量不足と表示されることがある。

## <プロジェクトテンプレート>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ ウィークプログラマテンプレートにて、「繰返設定」のみ設定している出力番号で出力結果が不正になることがある。

## <Downloader>

HG3G 形に対応しました。

## <Pass-Through Tool>

HG3G 形の USB ポートを経由した Melsec FX シリーズ PLC とのパススルーに対応しました。

## <マニュアル>

### 通信マニュアル

対応 PLC から IDEC 社製 PLC の廃止品を削除しました。

# WindO/I-NV2 Ver.4.24

---

## <システム ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ HG1F 形のタッチパネルの応答性を改善しました。
- ▶ HG3G 形において電源起動後やシステムメニューに切り替え直後に電源が切れると、MAC アドレスと液晶サイズの設定が消える場合がある問題を改修しました。

# WindO/I-NV2 Ver.4.23

---

## <システム ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ HG3G 形の個体差により、まれに起動しない事がある。

## <ホスト I/F ドライバ>

DM リンク 1:1/1:N 通信方式で、通信量が増えても画面スキャンへの影響が少ないように改善しました。

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ タグを使用したスクリプトを含むプロジェクトの表示器機種あるいはホスト I/F ドライバを変更後、このスクリプトを編集せずにプロジェクトをダウンロードすると、そのスクリプトが正常に動作しない。
- ▶ Windows 7 (32 ビット版または 64 ビット版) でモニタを開始した時、以下の条件を満たしていると WindO/I-NV2 が強制終了する。
  - (1) ワードスイッチ、特殊スイッチ、セレクトスイッチ、ランプ、文字入力器または図形表示器で、動作条件タブの「条件種別」に“条件成立中”を設定し、「条件」にタグを使用している
  - (2) オブジェクト一覧ウィンドウで、(1) の部品の次に、動作条件タブの「条件種別」で“条件成立中”を設定した部品が設定されている
- ▶ HG2G 形または HG3G 形にある特定のプロジェクトをダウンロードすると、それ以後ダウンロードやアップロードなどのメンテナンス通信に失敗する。
- ▶ HG1F/2F/2G/2S/3F/4F 形のプロジェクトでランプを設定後、再度編集しようとした際、プロパティダイアログボックスの形状タブで「背景を元に戻す」チェックボックスが常にマスクされている。

# WindO/I-NV2 Ver.4.22

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ Ver.4.21 で HG\*F/HG2S 形のプロジェクトを HG3G 形に変換すると、“無題のファイルが見つかりませんでした。”というエラーメッセージが表示され、WindO/I-NV2 が反応しなくなりフリーズする。
- ▶ HG3G 形で、数値入力器および数値表示器で「単位を表示する」を選択時、フォントで“標準”を選択すると、「拡大率」に常に“1”が設定される。
- ▶ 図形表示器の「切替方式」が“定周期”で、この周期に特定の数値を設定した場合、この図形表示器が配置された画面に切り替わると、HG3G 形がリセットし続ける。

# WindO/I-NV2 Ver.4.21

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ HG3G 形から 24 ビット ビットマップを含むプロジェクトをアップロードすると、ビットマップファイルが破損する。
- ▶ HG3G 形のプロジェクトを編集時、数値表示器および時計のフォントに“標準”を選択すると拡大率を変更できない。
- ▶ 数値入力器のフォントサイズに“16x16”を選択時、HG3G 形で数値が文字化けする。



# WindO/I-NV2 Ver.4.20

---

## <システム ソフトウェア>

- ▶ HG3G 形に対応しました。
- ▶ HG3G 形に追加された機能は以下のとおりです。
  - サウンドファイルを再生できるようになりました。
  - Bitmap ファイルおよび JPEG ファイルを表示できるようになりました。
  - スケーラブルフォントを表示できるようになりました。
  - デジタル入出力用の表示器内部デバイス LEX、LEY、WLEX、WLEY を追加しました。
  - サブ画面を透過する機能を追加しました。
  - ファイルコピー機能を追加しました。
  - プロジェクト転送機能を追加しました。
  - PLC プログラム転送機能を追加しました。
  - 外部メモリ (USB メモリ、SD メモリカード) に対応しました。
  - USB メモリによる Autorun 機能を追加しました。
  - 図形表示器における定周期での図形切り替え機能を追加しました。
  - USB 接続タイプのバーコードリーダーを接続できるようになりました。
  - アラーム履歴、データ履歴、操作履歴およびレシピ機能で、SD メモリカードへ出力するファイルのファイル名を設定できるようになりました。
  - 自動減光機能を追加しました。
  - 画面番号を保存する機能のある表示器特殊内部レジスタ(LSD31)を追加しました。
- ▶ HG2G 形に追加された機能は以下のとおりです。
  - 画面番号を保存する機能のある表示器特殊内部レジスタ(LSD31)を追加しました。

## <ホスト I/F ドライバ>

HG2G/3G 形、HG1F/2F/2S/3F/4F 形で、Modbus ASCII 通信に対応しました。

## <アプリケーション ソフトウェア>

- ▶ 上記システムソフトウェアの機能アップに伴う機種、機能及び設定項目を追加しました。
- ▶ 部品の動作条件の演算子に、論理和(&&)と論理積(|)|)を追加しました。
- ▶ HG3G 形用の部品ライブラリおよびピクチャデータを追加しました。
- ▶ タグエディタで、Allen Bradley 形式のデバイス表記に対応しました。

## <マニュアル>

## 通信マニュアル

以下の結線図を修正しました。

- ▶ Allen-Bradley 結線図 4 (HG2G/3G 端子台)
- ▶ 安川 結線図 3 (全モデル)
- ▶ DM-Link 結線図 3.1.1 (HG2G/3G 端子台、HG2F/3F/4F)

# WindO/I-NV2 Ver.4.14

---

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ デフォルトパスに設定されたフォルダに新規作成したプロジェクトあるいは保存されていた既存プロジェクトに対して、名前を付けて保存にて、同じフォルダ内にファイルを保存した場合に、強制終了してしまうことがある。
- ▶ 数値表示器、数値入力器にて、データタイプに **float32** を設定し、データオーバーの下限値と上限値に0以外の値を設定した場合でも、設定が0に戻ってしまう。

# WindO/I-NV2 Ver.4.12

---

## <システム ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ HG2G/HG1F/HG2F/HG2S/HG3F/HG4F 形で、「定周期でデバイスに書き込む」機能が、ホスト I/F 通信エラーからの復帰後に動作しなくなる。

## <ホスト I/F ドライバ>

- ▶ HG2G/HG3F/HG4F 形で、オムロン製 PLC との Ethernet 通信に対応しました。

## <アプリケーション ソフトウェア>

### 不具合修正

以下の不具合を修正しました。

- ▶ HG3F/HG4F 形のプロジェクトを編集時、プロジェクト設定ダイアログボックスの [通信 インタフェース] タブで [インタフェース構成] から“イーサネット”を選択すると表示される [Web サーバ機能を禁止する] チェックボックスが常にマスクされる。

## <マニュアル>

### 通信マニュアル

プログラマブルコントローラ：FC5A-SIF4 形増設 RS485 通信モジュールを IDEC 製 PLC 対応一覧に追加しました。

### Pass-Through マニュアル

第 4 章 使用方法の[注意]を更新しました。

# WindO/I-NV2 Ver.4.11

---

## <システム ソフトウェア>

HG3F/4F 形で CF カードに保存する画面ハードコピーの最大データ数を表示器特殊内部レジスタ (LSD65) の値で設定できるようになりました。

## <ホスト I/F ドライバ>

- ▶ HG1F/HG2F/HG2G/HG2S/HG3F/HG4F 形で、VIGOR 製 PLC に対応しました。
- ▶ SIEMENS S7 MPI ドライバによる通信の安定性を向上させました。

## <アプリケーション ソフトウェア>

- ▶ 1:N 通信でのデバイス アドレスを置換する機能を追加しました。
- ▶ タグ エディタの環境設定機能を WindO/I-NV2 のオプション ダイアログ ボックスから タグ エディタのコンテキストメニューに移動しました。

## <マニュアル>

### インストラクションマニュアル

表示器特殊内部リレー (LSM10) を使用したフラッシュメモリへの書き込み回数に関する注意事項を追記しました。

# WindO/I-NV2 Ver.4.10

---

## <システムソフトウェア>

- 1) HG2G 形 DC12V タイプに対応しました。
- 2) HG2G 形でイーサネット パススルー機能に対応しました。
- 3) HG2G 形で 2 個のタッチスイッチを同時に押した場合に、2 つ目の入力を受け付けられないようにする処理を改善しました。
- 4) 以下の不具合を修正しました。
  - HG2G 形のホスト I/F ドライバの設定で SIEMENS の "S7 MPI"あるいは"S7-200(PPI)"を選択し、シリアル1 インターフェースを O/I リンクスレーブとして設定していると、O/I リンク通信が正常におこなわれない。

## <ホスト I/F ドライバ>

- 1) HG1F/HG2F/HG2G/HG2S/HG3F/HG4F 形で、東芝製 EX100 に対応しました。
- 2) 以下の不具合を修正しました。
  - DM リンク (1:1) および DM リンク (1:N)を HG2G 形で使用時、イベント送信が出力されないことがある。

## <アプリケーションソフトウェア>

- 1) WindO/I-NV2 を WindCFG から起動した場合でも、WindO/I-NV2 からタグ エディタを開くことができるようになりました。
- 2) ウィンドウの表示順や [タグ名] 列を隠すなどの表示オプションを WindO/I-NV2 のオプション ダイアログ ボックスに追加しました。
- 3) クイック アクセス ツールバーのカスタマイズ機能を改善しました。
- 4) デバイス アドレス設定ダイアログ ボックスからタグ エディタを開いて、デバイス アドレスの使用状況を確認できるようになりました。
- 5) デバイス アドレスを置換する機能を、[ホーム] タブの [編集] に追加しました。
- 6) 編集ウィンドウのタブに表示されるアイコンを画面の種類に合わせて変更しました。
- 7) ズーム スライダーのスライダー部分の動きを改善しました。
- 8) プロジェクト ウィンドウにタグ エディタを追加しました。
- 9) プロジェクト ウィンドウに表示されるテキスト マネージャ、ピクチャ マネージャおよびスクリプト マネージャのアイコンを変更しました。
- 10) 画面のプロパティを変更せずに、数値入力器および文字入力器のフォーカス オーダーが編集できるようになりました。
- 11) 以下の不具合を修正しました。
  - ホスト I/F ドライバを変更後、画面に設定されたデバイス アドレスに対するエラーチ

チェックが行われない場合がある。

- 500 バイトを超える文字列を含む CSV ファイルをテキスト マネージャでインポートできない。
- プロジェクト ウィンドウ、画面一覧、オブジェクト一覧、部品リストあるいはツール ボックスで [自動的に隠す] を有効にした場合、プロジェクトを開いた際にウィンドウが一度表示されてから隠れる。
- プロジェクトを保存しても変更内容が画面一覧ウィンドウに反映されない。
- 部品や描画図形の連続描画モードで配置中に、配置直後のオブジェクトを **Delete** キーで削除すると配置できなくなる。
- 複数のユーザーが 1 つのプロジェクトを同時に開いて編集可能になっている。
- ワークスペース設定ダイアログ ボックスの [オブジェクト一覧] タブで、[表示項目一覧] に表示される項目がオブジェクト一覧ウィンドウと異なる。
- 新規に作成したプロジェクトを保存しなかった場合でも、[最近使用したプロジェクト] の一覧にプロジェクト名が表示される。
- スイッチを複数選択して記名文字のフォントを変更すると、変更内容が正しく反映されない。
- 編集中のプロジェクトで使用しているテキスト ID とインポートする画面で使用しているテキスト ID が重複している場合、テキスト ID を変更してインポートしても、インポートする画面で使用しているテキスト ID が変更されないため、表示される文字列が不適当になる。

### <Pass-Through Tool>

イーサネットパススルー機能を追加しました。イーサネットを介し、MICRO/I 経由で PLC プログラミングソフトウェアと PLC の通信が行えるようになりました。

### <マニュアル>

#### インストラクションマニュアル

第 26 章 パススルー機能： HG2G 形がイーサネットパススルーに対応し、内容を更新しました。

# WindO/I-NV2 Ver.4.01

---

## <システムソフトウェア>

### 1. プロジェクトの最大サイズ

HG1F 形および HG2F 形において、ダウンロード可能なプロジェクトのサイズをシステムソフトの Ver.2.3 (WindO/I-NV2 Ver.3.3) 相当まで増やしました。

## <アプリケーションソフトウェア>

### 1. 表示器機種の変更

WindCFG からエクスポートしたプログラム ファイルの表示器機種を変更しようとするときエラーメッセージが表示され、フリーズする不具合を修正しました。

### 2. プロジェクトを開く

旧バージョンで作成されたプロジェクトを開く際、データ変換後のプロジェクトの保存先を指定する「名前を付けて保存」ダイアログボックスで、キャンセル ボタンをクリックすると強制終了する不具合を修正しました。

### 3. 直線

書式タブのスピンドットをクリックして座標およびサイズを変更すると、設定した値が正しく反映されない不具合を修正しました。

### 4. 文字

「スタイル」で“影付き”を選択時、編集ウィンドウのイメージで影の位置が MICRO/I 上に表示されるイメージと異なる不具合を修正しました。

### 5. 部品リスト

機種で HG4F 形を選択時、部品リストを使用できない不具合を修正しました。

### 6. 画面一覧、部品リスト

画面一覧および部品リストの「自動的に隠す」を有効にした状態でプロジェクトを閉じると、再度プロジェクトを開いた際に何も表示されない不具合を修正しました。

### 7. カラー パレット

システム情報を読み出し後、機種がカラーであればカラー パレットがモノクロに、モノクロであればカラーになる不具合を修正しました。

### 8. 一括モニタ



「機器」で“接続機器”を選択後、一括モニタを閉じると強制終了することがある不具合を修正しました。

## <Downloader>

### 1. デバイスデータの読み出し、デバイスデータの書き込み

「データ数」の最大値を 64 から 2000 に増やしました。

### 2. 履歴データのアップロード

HG1F/2F/2S/3F/4F 形に対して、コマンドラインによる履歴データのアップロードに失敗する不具合を修正しました。

# WindO/I-NV2 Ver.4.00

---

## [新機能]

### <ホスト I/F ドライバ>

#### 1. Modbus RTU

局番0をブロードキャスト局番として使用する設定を追加しました。

#### 2. OpenNet(FC3A), MicroSmart(FC4A/FC5A), Web Server Unit(FC3A/FC4A/FC5A)

AutomationOrganizer に対応しました。

- ▶ SM を M に、SD を D に統合しました。
- ▶ TN を TC に、CN を CC へ名称変更しました。
- ▶ デバイス番号をネットワーク番号に名称変更しました。

### <アプリケーションソフトウェア>

#### 1. 新 UI に対応

従来のバージョンで使用していたプルダウンメニューおよびツールバーからリボンに変更しました。

頻繁に使用するコマンドに最少のステップでアクセスできるようになりました。



#### 2. 他のソフトウェアとの連携機能を追加

システム構成ソフトウェア WindCFG を使用することによって、PLC プログラミングソフトウェア WindLDR と 作画ソフトウェア WindO/I-NV2 を連携して使用できるようになりました。また、WindLDR とプロジェクトで使用しているデバイス情報（タグ、コメントなど）を共有できるようになりました。

#### 3. デバイス設定機能を拡張

- ▶ タグの設定が可能になりました。
- ▶ クロスリファレンス情報を充実させました。
- ▶ ドラッグ&ドロップによるデバイス アドレスの設定が可能になりました。
- ▶ ビットを表す記号として"."に対応し、デバイスタイプとアドレスを識別するスペースが不要になるなど、デバイス アドレスの書式を拡張しました。

## <マニュアル>

### 1. インストラクションマニュアル

インストラクションマニュアルのマニュアル番号を **HG9Y-B1118** に変更しました。

## [改善内容]

## <システムソフトウェア>

### 1. HG2G ホスト I/F ドライバ S7-MPI

WindO/I-NV2 Ver3.41, 3.42 でホスト通信エラーが表示されていた不具合を修正しました。

### 2. HG2G 画面

「ベース画面の重ね合わせ」のいずれかに存在しない画面番号が設定され、かつ「表示順序」に存在しない画面番号の設定された番号が選択されているプロジェクトをダウンロードした後、モニターモードでその画面を表示すると表示器本体がリセットする事がある不具合を修正しました。

## <ホスト I/F ドライバ>

### 1. HG2G オムロン SYSMAC-C

以下の不具合を修正しました。

- ▶ ビットデバイスへ書き込むと同一ワード内の他のビットが **OFF** する。
- ▶ 一番最初に PLC から読み出されるデバイス 1 つが正常に更新されない。

### 2. HG1F/2F/2S/3F/4F OpenNet(FC3A), MicroSmart(FC4A/FC5A), Web Server Unit(FC3A/FC4A/FC5A)

20 個以上連続したアドレスの T、C に対して読み出した場合に、通信エラーが表示される不具合を修正しました。

## <アプリケーションソフトウェア>

### 1. 数値入力器、文字入力器

"キーパッドの種類" が「編集集中の画面」で、"常に入力状態とする" がオンの時に、部品上に表示される数値/文字の反転表示ができなくなる不具合を修正しました。

## <マニュアル>

### 通信マニュアル

- ▶ 三菱の HG2G の結線図 2、4 の結線を修正しました。
- ▶ Allen Bradley の結線図 1 のコネクタ形状を修正しました。
- ▶ Allen Bradley の結線図 6、7 のコネクタ形状を修正しました。(英語版のみ)
- ▶ 東芝のシステム構成の結線図の参照先を修正しました。(日本語版のみ)